

千葉あいご

Vol. 74

Index

- ①~④ 第16回自立支援セミナー2020
- ④ 権利擁護委員会研修報告
- ⑤ 支援スタッフ部会報告
- ⑥ 協会予定
- ⑥ 新事業所紹介
- ⑦ わが施設の自慢・アピールポイント②
- ⑧ 千葉知協トピックス
- ⑧ 事務局だより・編集後記

第74号 (2020年3月号) 発行日：2020年3月20日／発行者：里見吉英／編集者：畠山正昭・菅谷大輔・秋山直樹

発行所：千葉県知的障害者福祉協会

[本 部] 千葉市中央区中央4-3-5 カンガルービル4F B TEL 043-224-5721 HP <http://www.chibachiteki.com/>

[事務局] 船橋市金堀町499-1 大久保学園内 TEL 047-457-2462

第16回自立支援セミナー2020

障害者施設が災害と向き合うとき — 於・千葉市文化センター —

令和2年1月26日、第16回自立支援セミナーが開催されました。

今年のテーマは、「障害者施設が災害と向き合うとき」とし、昨年、千葉県を襲った台風や集中豪雨で被災された、県内の2法人に登壇していただきました。後半は、社会福祉法人けやきの郷理事長・阿部叔子氏がインタビューア形式で、昨年の台風19号による被災状況、けやきの郷設立から今後の課題について、講演していただきました。

開会挨拶

千葉県知的障害者福祉協会

会長 里見 吉英 氏

昨年は、千葉県を台風や集中豪雨が襲い、多数の障害者支援施設が被災されました。その状況下、協会をはじめ、近隣施設が互いに協力し合い、救援物資を届ける等の救済活動を行いました。また、地域の方々からも多数のご支援をいただき、地域との共生生活が実証されました。

次に千葉県では、第7次障害者計画に着手していますが、長期化する短期入所利用者の問題や、障害特性に合わせた環境整備等、問題が山積しています。

中でも一番の問題は人材確保です。社会全体の問題でもありますが、障害福祉に携わる魅力を今後も発信し、次の担い手の確保に努めています。

最後に、社会福祉法人同士の連携や合併については、今後も注視していきたいと思います。

シンポジウム

コーディネーター
でい・さくさべ

管理者 濱本 典子 氏

昨年の台風、集中豪雨で被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

今回のテーマは「障害者支援施設が災害と向き合うとき」です。昨年の台風、集中豪雨で被災された2法人から、被害状況、利用者への対応、地域との繋がりについてお伺いします。

その前に、昨年9月9日に発生した、台風15号の被害状況調査結果について、報告させていただきます。

まず停電・断水被害ですが、被害に遭った全體の6割～7割が、1日から4日で復旧しましたが、11日以上にわたる被害を受けた施設もありました。

また、発電車、給水車が必要なところに配備されていない、必要数の把握もされていないこともわかりました。

利用者状況では、熱中症に罹患した利用者が11名、肺炎で入院に至った利用者は3名でした。食事は、非常食対応の施設がほとんどでした。また、備蓄食数は、91%の施設が3日分以上の備蓄があることがわかりました。

電力に関して、自家発電設備を備えていた施設が多数でしたが、充分な電力を提供するには、発電車の配備が必要でした。常備品として、非常食・水の他に、ランタン、懐中電灯、発電機を動かす為のガソリンや軽油、

が挙げられました。

今回の災害では、「命を預かる仕事をしている重さ」を再確認し、地域の方々と、顔の見える関係作り、他事業所との連携等、普段大切にしていることが生かされました。これらのことを行後の教訓としてくださいね。

シンポジスト

中里の家 施設長 畠山 正昭 氏

「台風で停電・断水の6日間」

地まで出ないと通じなくなつた為、不足品購入の際に、関係機関と連絡を取りました。

停電4日目には、行政や他施設から物資が届き、近隣の施設での入浴や洗濯機を利用させていただきました。

また、保護者への連絡は、電話が不通の為、手紙で状況報告をしました。



況報告をしました。

停電5日目には、発電機が増え、洗濯機やテレビ、事務機器へ利用しました。また、ご家族

が手紙を見て、6名の利用者が帰宅されました。停電6日目は、自衛隊の給水車が来所し、14時30分に電気が復旧しました。

停電中、復旧の見通しが立たないこと、制約のある生活から、利用者が不穏になることが多々ありました。職員も大半が被災した為、勤務の調整を行いました。

今回の災害を受けて、入所施設は24時間、365日利用者の安全確保や命にかかる仕事を再認識しました。

また、自家発電の整備、非常食の備蓄量の見直し、内服薬の在庫確認、通信手段の確保、法人事業所間の連携強化の必要性を強く感じました。

今回の災害を受け、入所施設は24時間、365日利用者の安全確保や命にかかる仕事を再認識しました。

また、自家発電の整備、非常食の備蓄量の見直し、内服薬の在庫確認、通信手段の確保、法人事業所間の連携強化の必要性を強く感じました。

「豪雨による被災と復旧へむけての取り組み」

ガーデンセブン 施設長 大原 淳一 氏

の擁壁が崩落し、土砂と樹木が施設1階の壁まで押し寄せました。浴室や職員室の窓が土砂で割れ、居住棟に土砂や泥水が入り込みました。この泥水が居室まで浸水し、床が泥水を含み、めぐり上がりました。

建物外部では、土砂が玄関、正門、駐車場に流れ込み、建物壁面に沿ったガス・水道・空調の管が土砂で潰されました。居住棟は立ち入り禁止とし、利用者は斜面から遠い食堂で待機となりました。自宅での待機が可能な方は、自宅や最寄りの駅までお送りしました。残った利用者は、食堂と多目的棟に分かれ、一晩過ごしました。

集中豪雨の翌日には、多くのボランティアの方に集まつていただき、土砂が撤去されました。本当にありがとうございました。

被害から1か月程経過し、崩れた擁壁と土砂を撤去する工事が始まりました。重機が入ることが困難でしたが、1か月程で擁壁が撤去されました。

自宅で待機されていた利用者、保護者へ連絡し、自宅で待機、他入所施設を利用、自宅から通所施設を利用のいずれかを選択してもらいました。

今後、2月一杯で、応急復旧工事が終了する予定です。

その後、建物修繕工事が始まります。予定では1か月から2か月を見込んでいます。

この工事終了後、利用者を迎えることができます。

この度、多くの方々からご支援いただきま

た。我々の気持ちに寄り添っていただき、心よ

り感謝いたします。

発電機は厨房食材保存や扇風機対応とし、行政とも連絡が取れました。

停電2日目は引き続き、利用者支援、関係機関との連絡、ガソリンの確保に努めました。

停電3日目に、法人内グループホーム2棟の電気が復旧した為、高齢者を中心に過ごしてもらいました。また、発熱者が2名おり、肺炎と尿路感染で入院となりました。

昨年の台風15号で、施設は浸水の被害を受けました。その後の集中豪雨により、居住棟周囲

濱本氏：お二方ありがとうございました。まず、ガーデンセブンの現在の状況を教えてください。

大原氏：この度は、多大なご支援をいただき、ありがとうございました。復旧については、行政と協議し、建物修繕は、国の補助金を利用する予定です。

濱本氏：被災中、利用者特性で配慮した点を教えてください。

畠山氏：停電の影響で、テレビが見られない、飲み物が自由に飲めなかつた為、不安定になる方がいました。厨房からジュースを提供してもらつたり、ドライブをして落ち着いてもらいました。

大原氏：まだ6、7名の方が、施設の斜面に面していない棟で、生活をされています。自宅で生活されている方は、施設から定期的に連絡し、他施設に入所されている方は、職員が定期的に訪問し、現状把握に努めています。

濱本氏：被災された職員の出勤状況について教えてください。

畠山氏：台風の翌日に9名が休みました。被害

が大きかつた方で、4名の方が1週間程度休みました。また、身内が被災された為、休まれた方がいましたが、他職員で協力し合いました。

濱本氏：今回の災害で、地域の方々との繋がりについて教えてください。

畠山氏：地域のガソリンスタンドに給油させてもらいました。また、施設で店を構えている為、地域の方が買い物で来店してくださいました。

大原氏：今回、地域の方々、周辺施設職員のお陰で、集中豪雨の翌日、翌々日には土砂のほとんどが撤去されました。

普段地域の方々とは、行事を通じて親交を深めています。

濱本氏：最後に、今回の災害を通して教訓をお聞かせください。

畠山氏：台風は事前の備えが可能だと思いつたが、後は十分に備えます。

大原氏：今回、自分達では貯えない、他業種の方々に支えてもらいましたので、今後も仲間としてお付き合いをさせていただきたいと思います。

わが子そして同志と共に 「扉を開けて 未来へつなぐ」

発表者 社会福祉法人 けやきの郷

理事長 阿部 叔子 氏

インタビュー TBS報道局解説・専門記者室
室長 牧嶋 博子 氏

「けやきの郷設立経緯と台風19号の被災状況」

阿部氏：本題の前に、昨年の台風19号で甚大な被害を受けましたので、その状況報告をさせていただきます。

けやきの郷が現在地に建設されたのは、当時の障害者支援施設を建設するには、半径300メートル以内の全ての住民から同意を得ることが、行政指導で決められていきました。その為、反対運動が繰り返され、現在地に建設せざるを得ませんでした。しかし、全施設での事業再開にはしばらく時間が掛かりました。

過去の災害を教訓に、今回の台風19号に備え、近くの市民センターに避難しました。しかし今回は、付近の河川の堤防が決壊した為、想定をはるかに超える量の水が施設に流れ込み、長期間の避難生活を余儀なくされました。

牧嶋氏：けやきの郷は反対運動にあつて、現在地に建設せざるを得なかつた訳です。また、今回の災害で、避難生活も非常に困難な状況であるとお伺いしました。

阿部氏：その通りです。今回、避難場所を転々とし、現在も複数の場所での避難生活を余儀なくされています。

牧嶋氏：避難生活での問題点や課題について、お聞かせください。

阿部氏：市民の理解を得ることが困難な為、避難場所を転々としました。環境の変化は利用者にとって大きな負担です。その為、集団での仮設住宅建設を要望していましたが、至りませんでした。また、施設の運営面も非常に厳しいことも大きな課題です。

牧嶋氏：現在の復興状況をお聞かせください。

阿部氏：ボランティアの方々をはじめ、多大なるご支援をいたしました。しかし、施設内の片付けは、ほとんど終了しました。しかしながら、全施設での事業再開にはしばらく時間が掛かります。

今日は、沢山の方に支えていただきました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。どうございました。

牧嶋氏：それでは、講演のテーマに沿ってお話しをお伺いいたします。阿部さんは、当時は珍しい働きながら、子育てをされていました。阿部氏：当時は大変でした。子供が自閉症だとわかり、親の会設立に携わりました。

その後、沢山の方に支えられ、けやきの郷設立の発起人となりました。

しかし、反対運動の為、説明会すら開けない状況が続きました。資金作りにも奔走しました。その他にも想像を絶する状況に直面しました。



発言する阿部氏（左）と牧嶋氏（右）

が、何とか、設立までこぎつけました。

牧嶋氏：大変なご苦労があつたと思いますが、当時の制度面を教えてください。

阿部氏：当時の職員配置基準では、より専門的な支援は困難でした。その為、親の会、後援会活動を通じて施設を支えてきました。その苦労が台風により、一瞬で失われてしまいました。

また、反対運動を経験して、自閉症を理解してもらう為に、設立から地域へ積極的に出る姿勢は、今まで一貫してきました。その苦労が台風により、一瞬で失われてしまいました。

牧嶋氏：阿部さん達が制度を先取りし、苦労をして創設した施設が、台風により、まるで湖のようく水没してしまいました。

しかし、この施設が、利用者の発達や成長に大きく繋がつたことを理解してください。

阿部さん、今後の課題についてお聞かせください。

阿部氏：まず、グループホームですが、現状の制度の中で柱になりつつあります。しかし、全体の3割が赤字経営の為、加算ではなく、報酬単価の見直しが必要です。

また、自閉症の方々への入院、通院における法整備の問題や、高齢化の問題があります。特に高齢化の問題は深刻です。親亡き後も利用者を支える仕組み作りが急務です。

今回、災害を通して、障害者への理解が不十分であることを認識しました。今後もより障害者へ理解のある社会作りを目指していきます。

本日はありがとうございました。

今回のセミナーを通して、命に携わる、我々の責務をより考えさせられました。改めて、昨年の台風、集中豪雨で被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

権利擁護委員会研修報告

令和2年1月30日で、さくさくに於いて県福祉協会権利擁護委員会主催「虐待防止に向けての取り組み」が開催されました。研修の目的は、テーマである虐待防止に向けての取り組みを整理・確認し、現場でどう伝え広めていくかを学ぶ研修会」が開催されました。研修の目的は、テーマである虐待防止に向けての取り組みを整理・確認し、各種課題への取り組みを支援現場で具体的な実践に繋げていくための手法の一つを学ぶことです。参加者は、支援現場のリーダーまたはそれに準ずる職員の方々を対象とし、県内各地の施設・事業所から55名の職員が参加して下さいました。

最初に権利擁護委員会の濱本委員長より、利用者に対して、より良い支援を目指していくこと、追及していくことが虐待防止への取り組みの中でも最も重要なことや、この研修で学んだことをそれぞれの事業所に持ち帰つて、支援現場での実践に繋げて欲しいという趣旨の挨拶がありました。

この研修は、座学ではなく、グループディスカッションを基本に、参加者全員の意見や情報を共有することができるワールドカフェ方式を取り入れた研修であることが特長です。グループディスカッションは、他己紹介から始まりました。緊張気味であった参加者の皆さんはコミュニケーションを取ることで肩の力が抜け、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

討議1 「たこ足図を描いてみよう」

まずグループごとに真っ白な模造紙を囲んで、虐待防止に向けて何が必要であるかを書き出す作業から始まりました。「虐待を防止するには」の文字を中心置いて、具体的な取り組み内容のたこ足図を作成していく作業です。たこ足が伸びれば伸びるほど、支援現場での多くの取り組み内容・



討議2 「これならできる!を決定する」

虐待を防止するためのたこ足図から最も重要な取り組みを、グループごとに決めます。「これならできる!」をグループ間で意見交換をします。いざ、取り組みを選別する段階においては、参加者の皆さんのが悩んでいること、躊躇していることは「同じだった」との確認もできました。最後に、各グループの代表者がグループ討議2で話し合われた内容を発表しています。メンタルヘルスや働き方改革に謳われているような内容も多く、リーダー的存在の立場からは、現場職員に伝えていかなければならぬ使命感と伝えていくことの困難さの狭間で思い悩む姿も垣間見られました。

権利擁護委員会では今後も「参加してよかつた」の感想で終わってしまう研修ではなく、支援現場で役に立つ研修の実施を企画・運営してまいります。

支援スタッフ部会報告

●室内ゲーム大会始めました！ 東葛北ブロック動きます。

忘年会スルーというワードが昨年末ささやかれました。世代間ギャップや働き方の多様化、価値観の違い等により、個人の広範なニーズ即した、多様性への対応を求められる機会が増えた様に感じます。

東葛北ブロックでも近年、交流会の参加者が減少する傾向にあります。「職場の先輩に誘われたから断り切れずに：」「上司に半ば業務命令として：」と言う様な参加の仕方はほほない感じます。

そこで東葛北ブロックでは部会担当者へのアンケートや意見交換を通して、既存のものに囚われない内容と参加方法を検討しました。人でも参加できるもの、「趣味を通しての参加」「勤務後に直接参加できるもの、平日の参加」などの意見が多数でした。

考え行き着いた結果が、「室内ゲーム大会始めました！」です。開催しました♪

一人で参加したい：と言つても、交流には共同が無ければ、スタッフ部会として集まる意味があまりありません。そこで、施設に囚われないチームを作り、チーム戦で協力し数種のゲームを対戦していくことにしました。

東葛北ブロック長
小金わかば苑 金 田 庸一

協会関係予定 研修会・会議（令和2年度）

[日本・関東協会会議等予定]

会議名等	開催地	開催日程
関東会長会議	東京都 ホテルメルパルク東京	4月23日(木)
全国知的障害関係施設長等会議	神奈川県 パシフィコ横浜	7月1日(火)・2日(水)
全国グループホーム等研修会	愛知県 名古屋国際会議場	8月20日(木)・21日(金)
全国知的障害福祉関係職員研究大会	京都府 ロームシアター京都 みやこメッセ	9月23日(火)～25日(金)
全国生産活動就労支援部会職員研修会	香川県 サンポート高松	10月3日(土)～5日(月)
関東地区職員研修会	栃木県 栃木県総合文化センター	10月7日(木)・8日(金)
全国会長・事務局長会議	東京都 ホテルメルパルク東京	10月29日(木)・30日(金)
日中活動支援部会全国大会	秋田県 秋田キャッスルホテル	11月12日(木)・13日(金)
障害者支援施設部会全国大会	北海道 京王プラザホテル札幌	11月19日(木)・20日(金)
全国児童発達支援施設運営協議会	栃木県 ホテル東日本宇都宮	12月1日(火)・2日(水)

[県協会予定]

会議名等	開催地	開催日程
定期総会	グリーンタワー幕張	4月22日(水)
千葉市ゆうあいピック	千葉市青葉の森	5月21日(木)
県障害者スポーツ大会	千葉県総合スポーツセンター(天台)	5月31日(日)
第47回県スポーツの集い	千葉県総合スポーツセンター(天台)	10月1日(木)
第29回さわやか芸能発表会	千葉県文化会館	12月8日(火)
千葉ゆうあいピック駅伝	千葉県総合スポーツセンター(天台)	1月17日(日)
第17回自立支援セミナー2021	千葉市文化センター	1月24日(日)
千葉県ID陸上競技選手権	千葉県総合スポーツセンター(天台)	3月17日(水)

した○×、水を張ったグラスにコインを入れていくゲーム、ジエンガ、黒ひげ危機一髪、等を行いました。中には、多者の目を引くほどの、驚異の集中力や記憶力、腹黒さを發揮する等、驚嘆と尊敬の視線を集めている方もいました。

結果、大いに盛り上がりました！しかも、当初用意していた道具やルールを参加者が自発的に、臨機応変により楽しめる様に変更する場面も見られ、これぞ交流と感じました。

今後はオフ会交流会や時間に囚われないSNSを使つた交流も：とニヤついています☺



新事業所紹介



ぱれつと

みんなのみらいを色鮮やかに描く



ぱれつと外観

ぱれつとは生活介護（定員20名）として茂原市七渡（市内北部）に、今では元号の響きも懷かしく感じる平成31年4月に開所しました。活動や取り組みの幅がとても広い生活介護事業のなかで、事業所名に込めた想いを形にすべく、職員一同知恵を絞り、利用者さん達が楽しく過ごせる取り組みをいくつも見つけ出し、毎日数ある活動の中から、その日の気分でやりたい事に取り組んで頂いています。あえて、活動班という括りを作らないことで、様々な個性を持つた利用者さん達とそれぞれの想いを持つた職員が「ぱれつと」というステージの上で自分の色を思う存分出し、明日が楽しみになる今日を過ごせるようになります。今はまだ、新しい土地で新たな経験をスタートさせたばかりの新米事業所ですが、これからもそしていつまでも今の想いを忘れることがなく、この「ぱれつと」が沢山の色で鮮やかに描かれます。



廃本を使った創作活動



暑い日には流しそうめん

さま、お近くにお越しの際は、日々の疲れを癒しにふらつとお立ち寄りください。利用者、職員一同心よりお待ちしています!!

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

施設長 河北丈

社会福祉法人心聖会

こいけ障害者支援センター

地域のみなさまとともに成長!!

当事業所は、八千代市小池に定員40名の生活介護事業所として平成29年11月に開設いたしましたので、現在は、2年と数カ月が経過したところでございます。

開設当初と比べると地域に出かけていくことが増えました。

これまで日が浅い事業所でございますので、それでの活動において、今後の展開に期待を込めながら進めていく状況ですが、お近くにいらっしゃった際には、是非お立ち寄りいただきまして、ありがとうございました。

輝き続け、素敵なもののみらいを描きながら、利用者さんも職員も、この地域のようになんばりと生きています。みなさんが、この地域のようになんばりと生きています。みなさんは花壇のない公園に花壇を造ることがあります。花壇を造ることで、花植えや、水やり、除草作業と一緒に地域の情報紙を毎週各ご家庭に配布しています。他には地域の情報紙を毎週各ご家庭に配布しています。この仕事では新聞や郵便物がポストに溜まっていたり、洗濯ものがずっと干しつぶになっていたりするご家庭がないかななど、「日常の異変に対し「ちいきの見守り隊」としても、できる範囲でご協力を」と呼びかけにも応える形で参加しています。

絵を描いたり廃材のようなものを使って作品も作っています。「みんなが共有した体験を大きな一枚の絵にしてみましょう」と創作活動にアイデアを出してくれるボランティアさんがいます。

まだまだ日が浅い事業所でございますので、それでの活動において、今後の展開に期待を込めながら進めていく状況ですが、お近くにいらっしゃった際には、是非お立ち寄りいただきまして、ありがとうございました。

管理 者 西澤昇太郎



こいけ障害者支援センター外観

るかもしれませんから安心です」と声をかけていただいたり、市の環境美化ボランティア制度に登録し、公園清掃を定期的に行っていますが、花壇のない公園には花壇を造ることで、花植えや、水やり、除草作業と一緒に地域の情報紙を毎週各ご家庭に配布しています。他には地域の情報紙を毎週各ご家庭に配布しています。この仕事では新聞や郵便物がポストに溜まっていたり、洗濯ものがずっと干しつぶになっていたりするご家庭がないかななど、「日常の異変に対し「ちいきの見守り隊」としても、できる範囲でご協力を」と呼びかけにも応える形で参加しています。

絵を描いたり廃材のようなものを使って作品も作っています。「みんなが共有した体験を大きな一枚の絵にしてみましょう」と創作活動にアイデアを出してくれるボランティアさんがいます。

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント③

平成20年度から31回にわたり82の“プチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“プチ自慢”です!

いすみ・長生ブロック・社会福祉法人児童愛護会 キッチンせいじょう

大人気の「日替わり弁当」一度食べてみて!

東京オリンピック「サーフィン」の開催地である長生郡一宮町にて「キッチンせいじょう（就労B型）」は、お弁当の宅配サービスや洋菓子の販売を行なっています。人気メニューNO.1はダントツで「日替わり弁当」です。他にもメニューはあるのですが9割近くのお客様が日替わり弁当を注文されます。しかも日替わりメニューの中身を聞いてくる方はほとんどいません。お客様は町役場、交番、銀行、町の集会所、個人宅など近所の皆様です。午前中に注文の電話が鳴り響きますので、外線4本、入所施設の事務員もお弁当屋さんをバックアップしています。

利用者工賃は昨年度ようやく2万円を突破しました。それぞれ



私たちが作っています



日替わり弁当

の工程があり「職人」と呼べる技術を持っている利用者様もいらっしゃいます。例えば「ごぼうのささがき」「メニュー毎の調味料・割り箸のセット」「手作りメンチコロッケの仕込み」など。得意分野を活かした作業に取り組んでいます。

副施設長 田辺 真

印旛・山武ブロック・社会福祉法人清郷会 ワークわく・きよさと

「働く=ワーク（わく・きよさと）」を楽しむ

平成24年に就労移行支援事業所としてスタートし、8年目を迎えていました。13名だった利用者も現在は33名になり、就労継続支援B型、就労定着支援と多機能型事業所に移りました。

作業内容としてはリサイクル（段ボール回収）、受注作業（箱折り・袋詰め等）、施設外就労（物流倉庫内の作業、市福祉センター清掃、剪定や除草作業）を行なっています。段ボール回収で子ネコを回収してきたこともあります。皆さんどの仕事も手を抜くことなく、特に施設外就労は予定表を待ち望んでいる方が多く、頼もしい限りです。

一般企業に就職すること、日々の作業で「働く」を実感することが利用者の皆さんの夢であり楽しみとなっています。（でも一番は工賃でしょうか？）出席率が高く毎月皆勤賞の方が何人もいらっしゃることがあります。



ワークわく・きよさと外観



ワークわくまつり

しゃることが真実を物語っていると思います。

ワークわく・きよさとは、利用者と「共に笑い 共に羽ばたく」という法人の基本理念を念頭に活動しています。利用者の皆さんと共に職員も成長できる場所でありたい、と願いつつこれからも楽しく仕事に励みます。

支援課長 三木 かほる

第47回

「手をつなぐ作品展」報告



南部地区	中部地区	北部地区
売上時場所	売上時場所	売上時場所
約92万円	イオンモール富津	ユニモちはら台
令和2年2月21日～23日	令和2年2月14日～17日	令和2年2月5日～7日
事業所参加	26事業所参加	12事業所参加

今年も2月に第47回手をつなぐ作品展が北部、中部、南部の3地区にて開催されました。たくさんのお客様に御来場頂き、展示・販売活動を通して、知的障害者への理解と関心、可能性についてお伝えすることが出来ました。毎回ご協力を頂いているイオン様、ユニモ様を始め、各施設、関係者の皆様のご協力にお礼申し上げます。

千葉知協トピック

第23回千葉ゆうあいピック駅伝大会 報告

スポーツ文化委員会 藤崎 明



ハーフの部 1区～県総合SCで

令和2年1月
12日(日)、第23回
千葉ゆうあいピ

ック駅伝(千葉

県知的障害者陸

上競技協会等主

催、本協会等後

援)が千葉県総

合スポーツセン

ター第2陸上競

技場で開催され、

56チーム238

名の選手が健脚

を競いました。

市中央区)にてさわやか芸能発表会を開催しま

した。

舞台発表では、例年よりも2団体多い14団体

が出演し、最優秀賞を争いました。今大会では

審査員に敬愛短期大学の学生のお二人に加わっ

た。

一方、展示部門では10団体が出品しました。

展示部門も同様に年々レベルが上がってきています。

会場の皆様の投票も盛況でした。審査の結果、

でい・まさご式番館が最優秀賞を獲得しま

した。次回は本年12月8日(火)開催です。

エイズ(3区間6・34km)
男子＝優勝・八日市場特別支援学校C、準優勝
勝・市川大野A、第3位・ふる里学園
千倉A
女子＝優勝・富里福葉苑、準優勝・不二学園
壮年男子＝優勝・富里福葉苑A、準優勝・富
里福葉苑B、第3位・富里福葉苑
C

壮年女子＝出場チーム無し

成績の詳細は千葉県知的障害者陸上競技協会の
HPに掲載されています。
<https://www.makinomikai.or.jp>



最優秀賞 アーアンドデイだいえい～舞台発表

第28回さわやか芸能発表会 報告

スポーツ文化委員会 藤崎 明

令和元年12月10日(火)、千葉県文化会館(千葉

市中央区)にてさわやか芸能発表会を開催しました。

舞台発表では、例年よりも2団体多い14団体

が出演し、最優秀賞を争いました。今大会では

審査員に敬愛短期大学の学生のお二人に加わっ



最優秀賞 でい・まさご式番館～展示発表

編集後記

くすのき苑 秋山 直樹

事務局便り

事務局長 千日 清

事務局便り

事務局長 千日 清

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
中国からの感染症の拡大は大きな脅威。

世界から集まるオリンピックをゆっくりと応援し、

日本の活躍に歓喜 感動したいものです。

災害のない一年でありますように。

災害、感染症、様々な情報が流れ、時に惑います。正しく情報をまとめて、共有することが肝要かと。今年は支援においても改めて情報の重要性を認識し、臨む年としたい。